

JAPAN ICOMOS / INFORMATION

INTERNATIONAL COUNCIL ON MONUMENTS AND SITES JAPANESE NATIONAL COMMITTEE 日本イコモス国内委員会

目次◆CONTENTS

はじめに／西村幸夫 01

From the President／Yukio NISHIMURA

英語サマリー／内藤秋枝ユミイザベル 02

Contents of this volume in brief (English only) / Yumi Isabelle NAITO-AKIEDA

2013年次第2回拡大理事会報告(6/15) 山田幸正 03

The Executive Board Meeting 15th June 2013 / Yukimasa YAMADA

第37回世界遺産委員会報告／稲葉信子 09

Report of the 37th World Heritage Committee / Nobuko INABA

鎌倉に対するイコモスの評価結果について／西村幸夫 10

The results of the ICOMOS evaluation for Kamakura / Yukio NISHIMURA

「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」保全のための取り組みについて／静岡県世界遺産推進課・山梨県富士山保全推進課 11

“Fujisan, sacred place and source of artistic inspiration”: initiatives for preservation
／World Heritage Division, Shizuoka Prefectural Government & Fujisan Conservation
Division, Yamanashi Prefectural Government

小委員会報告 Report of the Subcommittees of Japan ICOMOS

第13小委員会(眺望遺産及びsetting)報告:回答書バリへ送付、富士見坂vistaの消滅／赤坂 信 12

Activities report of the 13th Subcommittee / Makoto AKASAKA

第14小委員会(20世紀建築)報告／山名善之 12

Activities report of the 14th Subcommittee / Yoshiyuki YAMANA

「水中文化遺産保護条約に関連する諸問題の研究小委員会」の設立準備会／岩淵聡文 13

Preparatory meeting for the establishment of the “Subcommittee on issues related to the
Convention on the Protection of the Underwater Cultural Heritage” / Akifumi IWABUCHI

日本イコモス国内委員会後援「ブルーシールド研究会」(7/22)報告／益田兼房 14

Report of the “Seminar on the Blue Shield” supported by Japan ICOMOS (22nd July 2013) /
Kanefusa MASUDA

「丹下健三先生 生誕百周年記念シンポジウム」報告:丹下健三先生—教師・人物・時代—／藤井恵介 15

Symposium for the 100th Anniversary of the Birth of Kenzo Tange / Keisuke FUJII

国立近現代建築資料館の発足／鈴木博之 16

The inauguration of the National Archives of Modern Architecture / Hiroyuki SUZUKI

事務局日誌 Diary 18

9期—3号



2013.9.5



前野まさる 画

はじめに
西村幸夫

前号のインフォメーション誌第9期2号のまえがきで、私はこの時期は「イコモスのカレンダーでも特別にセンシティブな時期」だと書きました。世界遺産登録の騒動のまっただ中だったからです。それから3ヶ月が経過し、事態は皆さんがご承知のような経過をたどりました。とりわけ富士山が三保松原を加えた25資産で世界文化遺産に登録されたことは日本にとってまたとない慶事でした。

ただ、イコモスにとってはたんなる逆転登録を喜ぶというだけでは不足です。どういう論理でイコモスのもともとの提案が否定されたのか、をきちんと総括する必要があると思います。

この点に関しては、近藤誠一前文化庁長官が2013年7月24日付け毎日新聞夕刊に「『政治力の成果』という誤解」という長文を寄稿されており、科学的に説得工作を行った様子が明らかにされています。距離といった西欧型のわかりやすい指標のみならず、信仰や芸術の面での一体性という東洋的な価値付けをどう理解すべきなのかという問題提起があって、それを巡って判定が覆されたというのです。

私たちがこうした科学的・論理的な議論をこれまで積み重ねてきたつもりですが、やはりそのことは間違っていないということです。政治的なロビー活動で判定を逆転させるのではなく、正々堂々と日本の価値観を前面に押し立てて、議論をすべきなのです。世界は、ある意味で、そのような問題提起を待っているとも言えます。なぜなら、その主張の中に見られる文化の多様性こそ、私たちがユニバーサルに大切にしなければならないものだからです。

事務局日誌

(2013年5月11日～2013年8月5日)



- 5/15 Namhansanseong Culture & Tourism Initiatives より "Namhansanseong Newsletter Vol.14 Looking Back on the Year 2012" "Namhansanseong Photo Book" を受領。
- 5/22 縄文遺跡群世界遺産登録推進本部より、『縄文遺跡群世界遺産登録推進国際シンポジウム記録集』を受領。
東京文化財研究所文化遺産国際協力センターより、『各国の文化財保護法令シリーズ [14] ベトナム』『各国の文化財保護法令シリーズ [15] 韓国』『各国の文化財保護法令シリーズ [16] ミャンマー』『各国の文化財保護法令シリーズ [17] フィリピン』『Geophysical Survey of the Buried Cultural Heritage in Bamiyan – Final Reports of 1st and 2nd Missions』『Indo-Japanese Project for the Conservation of Ajanta Paintings – Digital Documentation of the Paintings of Ajanta Caves 2 and 9』『Documentation of the Bamiyan Sites 2 Topographic Survey of the Central Part of the Bamiyan Valley』を受領。
- 5/31 群馬県企画部世界遺産推進課より、『絹の物語 未来へ シルクカントリー in 藤岡～世界遺産が拓く藤岡の輝く未来～』を受領。
- 6/10 定例会議を開き、第2回拡大理事会と研究会の内容等について協議。
[JAPAN ICOMOS INFORMATION] 第9期2号発行、会員に順次発送。
公益財団法人ユネスコ・アジア文化センターより、"ACCU news No.389" を受領。
- 6/14 特定非営利活動法人全国町並み保存連盟より、『町並みかわら版』59号を受領。
- 6/15 日本イコモス国内委員会2013年度第2回拡大理事会、および研究会「日本イコモス研究会「日本の建造物保存におけるオーセンティシティ概念検討上の課題」」を開催。研究会には28名が参加。
日本イコモス国内委員会委員長および第14小委員会主査連名文書「京都館再整備について」を京都市長宛に送付。
会員の岩淵聡文氏より著書「文化遺産の眠る海 水中考古学入門」を受領。
- 7/8 日暮里富士見坂からの眺望保全に関するICOMOS決議への関係区の対応をバリ本部へ報告。
- 7/16 株式会社交通新聞社より、月刊『旅の手帖』8月号を受領。
- 7/17 広報企画会議を開き、インフォメーション誌第9期3号の編集方針を協議。
特定非営利活動法人全国町並み保存連盟より、『町並みかわら版』60号を受領。
- 7/27 「水中文化遺産研究会」、および第12小委員会（技術遺産）第4回会合を開催。
高橋暁氏（ユネスコ大洋州事務所文化担当企画官）より、"Training Manual for the UNESCO Foundation Course on the Protection and Management of Underwater Cultural Heritage in Asia and the Pacific" "Underwater Cultural Heritage in Oceania" を受領。
- 7/29 日本イコモス事務局員が藤岡麻理子氏から水本朋菜氏に交代。
- 8/5 東京文化財研究所研究支援推進部より、「Tobunken News Digest」No.12,13、『独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所概要2013』『独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所年報2012』を受領。

日本イコモス国内委員会 団体会員（代表者）

佐渡市（甲斐元也） 縄文遺跡群世界遺産登録推進本部（三村申吾）
百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議（松井一郎）

日本イコモス国内委員会 維持会員（代表者）

株式会社 尾田組（尾田芳信） 株式会社 鴻池組（篤田守弘）
株式会社 都市環境研究所（小出和郎） 株式会社 ブレック研究所（杉尾伸太郎）
株式会社 文化財保存計画協会（矢野和之） 株式会社 トリアド工房（伊藤民郎）
「国宝松本城を世界遺産に」推進委員会（菅谷 昭） 西武建設株式会社（宮本文夫）
株式会社 小林石材工業（小林美和） 「善光寺の世界遺産登録をすすめる会」（加藤久雄）
株式会社 丹青社（青田嘉光） 株式会社 ゴールデン佐渡（澤邊一郎）

（敬称略・順不同）

日本イコモス国内委員会の活動には以上の企業・団体のご支援をいただいております。